町長の施政方針を問う！

定例会初の試みとして、26年度当初予算の審議にあたり、町長の施政方針表明が行われ、５人の議員が施政方針表明に対して、町長の見解を問いました。

町長施政方針

将来に責任の持てる町政を

平成26年度は、現在進めている駒寄スマートＩＣの大型車対応化、南下城山防災公園、八幡山グラウンドの拡張の大型主要事業を積極的に推進していきます。

また、第五次総合計画には、六つの大きな柱（大綱）とそれを相互に補完する、あるいは戦略的に取り組むための四つのシンボルプロジェクトがあります。

一「よしおか再発見プロジェクト」は、まちのよいところをもう一度見つめ直し、気づかないことや、うもれているものを磨きあげることを主眼としており、よしおか再発見ウォークや大樹町子ども交流事業などの予算を計上しました。

二「よしおか健康No.1プロジェクト」では、一人ひとりが日々の生活を楽しく過ごせるように、また増加し続ける医療費や介護給付費の削減に少しでも寄与できるよう、まち全体で健康づくりを推進します。

三「安全・安心プロジェクト」では、二酸化炭素の削減、再生可能エネルギーの問題にできるものから取り組むため、住宅用太陽光発電システム設置補助金の継続、防犯灯のＬＥＤ化改修のための予算などを計上しました。

四「環境交通推進プロジェクト」では、道路網の整備や公共交通マスタープランの策定などを考えています。

将来に責任の持てる町政が私の信念です。将来に禍根（かこん）を残すことのないように、しっかりと熟慮（じゅくりょ）を重ねてまいります。

平形　薫　議員

問　**駒寄スマートＩＣの大型車対応化改修で、住民説明会でも強い要望があったが、ＩＣ西側の通行ができるようにならないか。**

町長　前橋市とまちの２カ所の説明会では、道が途切れているとの意見が出た。迷惑をかけないような政策がとれるように努力していく。

問　**相馬原演習場での日米共同訓練が報道され、大騒ぎになった。自衛隊のオスプレイ導入の話もあり、住民は城山防災公園にオスプレイが降りてくるのではと心配しているが。**

町長　日本も17機のオスプレイを買い求めるとなれば、やがて全部その機種になると思う。緊急時にはそこに降りてくるのかなとも思うが、防災公園なので県の防災ヘリなどが降りると思う。

問　**総合計画、友好都市協定締結などの重要案件は議決すべきと思うが。**

町長　議決なしでもできるが、議会に相談しながらやっていきたい。

問　**災害時の施策が、ほとんど示されていないが。**

町長　災害時の予算は、項目だけで実質組んでいなかった。こういった部門も見直していく。

問　**２月の大雪で、被災者は迅速な支援策を待っているが。**

町長　近隣自治体の支援策は承知しているが、まちとしてできるものは取り組んでいきたい。

神宮　隆　議員

問　**都市計画道路大久保上野田線の早期開通要望をしているが実現していない。下野田地区では、旧県道高崎渋川線に連結する東西の広い道路がなく、利便性が悪い。町道上野田**

下野田線の一部改良整備計画があるが、整備計画の内容は。

町長 今のところ都市計画道路の早期開通は無理である。上野田下野田線の一部をまちで施行し、姿勢を示し、県に要求していきたい。距離は高崎線まで200㍍弱、幅員は普通車が、すれ違う程度の広さで、26年度の予算で事業を予定している。

金谷　重男　議員

問 **厳しい財政の中、一般会計予算は63億2千万円だ。60億円以上の額はここ数年みられなかった額だが、納税者に対して丁寧な予算説明のパンフレットを配布できないか。**

町長 広報紙で、より分かりやすくなるよう見直しを進めたい。パンフレットなどの公表方法も検討していきたい。

問 **「人口増で喜んではいられない」と町長は施政方針で述べている。後年、現在の高額医療費体質がそのまま続けば、まち財政は破たんしてしまうのではないか。産業誘致による財源確保が必要ではないか。**

町長 児童増で駒寄小学校も増築した。先輩方が築いてくれた財産が人口増につながっている。インターを核に、慎重に対策を練りながらやっていきたい。

問 **JR群馬総社駅西口整備に関して、前橋市に「パークアンドライドの駐車場を確保して欲しい」とお願いしたとのことだが、マニフェストとの整合性と、JR群馬総社駅西口方面のどこに大駐車場が確保できるのか。**

町長 前橋市の担当者が説明に来たときに伝えた。新駅構想に関しては2期目になった時に調査をしていこうと考えた。インターもここまでくるのに時間がかかった。任期の中で方向を示したい。

小池　春雄　議員

問 **歳入について施政方針では述べられていないが、消費税が5%から8%に引き上げられることにより、地方消費税交付金が増額となる一方で地方交付税が減らされるのではと思うが、まちへの影響は。**

町長 26年度につきましては、町税の影響はあまりないのかと思っている。

問 **物件費、維持補修費、普通建設事業債などが全体でどのくらい増額になるか。**

町長 予算の面で影響するのは約5千万円かと思う。

問 **まち独自の子育て支援は。**

町長 26年度は、子ども子育て支援事業の策定年度になる。ニーズ調査、結果などを参考にして、まちに適した計画としたい。

また、明治学童保育の拡充のための整備予算を26年度に盛り込んでいる。

問 **国会で審議中の介護保険制度について、どのように考えるか。**

町長 26年度から、体制づくりをしていきたい。

問 **まちの今後の農業のありかたは。**

町長 まちの全体像が変わってくる中、都市計画決定の変更やマスタープランの見直しの時期にきていると思っている。

問 **農業に対して、まち独自の補助制度を考えては。**

町長 まちとして、手助けができるよういろいろな面で研究したい。

小林　一喜　議員

問 **人口増のまちであり地域の環境対策は課題だが、畜産振興の悪臭対策は。**

町長 まちでは畜産環境対策事業補助金を予算付けている。

問 **畜産農家への補助金交付の流れは。**

町長 農協を介して、該当農家へ交付している。

問 **環境に配慮し、炭化施設を併設した資源循環型の小倉農業集落排水施設は稼働して4年、臭気対策は。**

町長 全国でも珍しい最新の施設で、脱臭装置の改良を重ねて汚泥は現在広域の焼却炉に処理を委ねている。炭化施設は休止中だが、臭気は基準値以内なので、26年度は慎重を期しながら稼働したい。

問 **今後の農業集落排水事業の維持管理は。**

町長 計画した事業は完了したが、将来的には公共下水道に接続も視野に、県に要望している。

問 **町民から早期完成の要望の大きい八幡山グラウンド拡張事業の進捗状況は。**

町長 9人の地権者の方々のご協力を得て、用地買収および借地の契約をさせていただいた。

問 **一般会計補正予算でグラウンド拡張の減額の要因は。**

町長 農業施設用地の都合で、協力はするが、1年の猶予が必要な方がおり減額した。

問 **グラウンド拡張の実施計画は。**

町長 基本計画を策定し、自治会、体育協会など多方面から意見を集約し進めたい。